



広域広報

# まきたま

No.12

平成6年(1994年)

12/15



フランス・サンフアンポー村

民家の花飾りのようす

○特集 置賜三市五町共同企画  
「わたしのまちの教育最前線」

○フラワー探険隊視察報告



# わたしのまちの

# 教育最前線

次代を担う、大切な子供たちを育てるため、三市五町内の各学校で、どのような取り組みがなされているのでしょうか。

複雑になる社会の中で、「人間」としての教育が求められていることは、確かなことです。

そこで、伸び伸びと個性を尊重した教育を行なっている学校を訪問しました。

## 「慈愛」の心を育む教育

### 長井市

長井小学校では、父母と教師、家庭と学校が一体となった「心の教育」を推進しています。これは、校是となっている「慈愛」の心を育むため、学校内だけにとどまらず、家庭や地域の中でも「助け合いの心」、「思いやりの心」を大切にしようという取り組みです。学校とPTAが一緒になっての

主要な活動としては、

- ① PTA広報「慈愛」と、たより「はぐくみ」の発行
- ② 慈愛まつり（全校児童が参加したの合唱や合奏、演劇、「あいさつ、ありがとう」運動発表、お母さんたちが握ってくれたまごころおむすび、など）
- ③ 学校と家庭それぞれに「慈愛の日」を設定し、「あいさつ、ありがとう」という運動を展開し、地域にもその輪を広げ、明るいまち



写真② 白鷹町

写真① 長井市





# 2冬の花を楽しむ

づくりを推進

④PTAの「歌声活動」や「親と教師の慈愛の集い」

などがあります。PTAはこれらの活動が高く評価され、この秋文部大臣表彰を受けました。(写真①)

子どもたちは夢や希望を持って進路を選んでいきますか

白鷹町

今、高校で、自主的に退学する生徒が増えてきています。これにはさまざまな原因が考えられます。子どもたちが豊かな生涯の中で、人生を自分で切り拓くという意思が弱くなってきたこと。人並み意識が強くなってきたこと。進学が、将来へのステップとしての進学ではなく、入る学校への進学と、進路指導が進学指導になってしまっていることなど、さまざまな原因がからみ合っています。

白鷹町と白鷹西中学校は、今年度から二年間、文部省から「中学校進路指導総合改善事業」地域として指定されました。これは、さまざまな分野から「子どもと進路」について意見を受け、夢と希望を持ってたくましく生き抜く子どもを育てられるよう、地域全体で研究していこうというものです。

進路指導は生き方の指導です。子どもが夢と希望を持って自分の個性を磨き、はずみのある生活ができるよう、その進路を地域みんな

なで考える必要があります。

(写真②)

学校と地域が一体となった音楽によるまちづくり

飯豊町

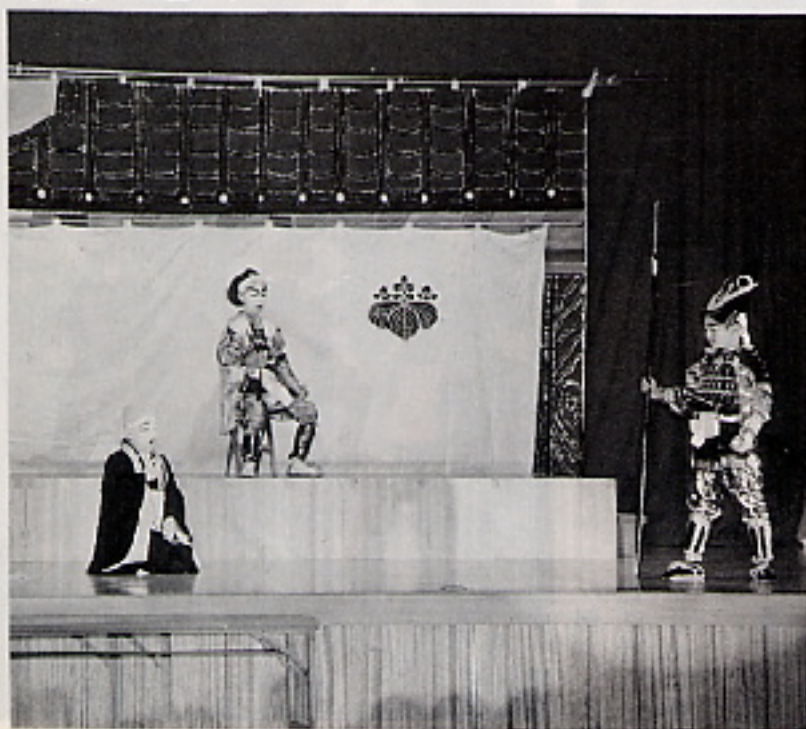
さまざまな町づくりに取り組んでいる飯豊町では、平成四年より「音楽により町づくり」がスタート。町のイメージソング「めぐみ」(フランス語で親しい仲間の意)と和太鼓組曲「出羽之國飯豊山白流太鼓」の製作に続き、今年度は第三弾として合唱組曲が完成しました。

「ラブリー・ホームタウン」(ふるさとに捧げる六つの讃歌)という題名で、作詞・作曲をNEK教育テレビ等でご活躍の村田さち子さんと三石哲止さんに依頼。十一月六日には、小中学生からお母さんまで二二五人の大合唱団による初演演奏会が開催されました。

子供から大人まで歌い易く、親しみ易い、そして完成度が高い作品として、町内の各小中学校ではさまざまな行事に活用されています。今後は、全国でも珍しい音楽の副読本として学校教育で学芸の一環としても利用する予定。二年連続吹奏楽コンクール県大会最優秀賞の飯豊中学校の活躍など音楽への関心が高まりをみせる中、学校と地域が一体となった「音楽による町づくり」が着々と進んでいます。

(写真③)

写真④ 小国町



写真③ 飯豊町



沖庭小学校歌舞伎

小国町

小国町立沖庭小学校（仁科緑校長・児童数七十九人）では、地元の舞上芸能・古田歌舞伎を理解し受け継いでいこうと、歌舞伎の体験学習を行っています。

古田歌舞伎は、江戸時代末期に歌舞伎役者の尾上竹三郎が古田地区の人たちに伝えたといわれ、大正末期から昭和初期にかけての最盛期には、各地を公演してまわったこともあったといわれています。その後、後継者不足などにより、昭和三十三年の公演以来途絶えていましたが、昭和六一年に再興され、現在も定期的に上演されています。

この沖庭小学校歌舞伎は、古田地区が小学校の学区内にあるため、ふるさと学習の一環として昭和六十三年から始められました。今年で六回目を迎えた発表会は一・三・五に開催され、練習を重ねてきた小学五年生の児童十五人が役者となり、「絵本人功記―九段目山崎合戦の場」、「白浪五人男―稲垣川勢揃いの場」を上演しました。（写真④）

受け継がれる伝統く足まつりく

南陽市

毎年六月五日は宮内小の創立記念日。この日に本校の「足まつり」

が行われます。

「足まつり」とはブロック（異学年の縦割り集団）の所で協力し合いながら、ポイン、に設けられた問題を解き進んでいく追跡ハイキングです。

この足まつりで高学年は、班のリーダーとして班員をまとめていくことを、そして低学年は高学年の指示をよく聞いて、正しく行動することを学びます。

自分の足でしっかり歩き、口でよく見、頭でよく考えながら進む約二時間の道のり。決して平坦なものではありませんが、学年の違う人たちと様々なことを話し、助け合いながらゴールを目指す楽しさと喜びを味わうことができます。

足まつりの歴史をたどれば、それは二十年前に遡ります。

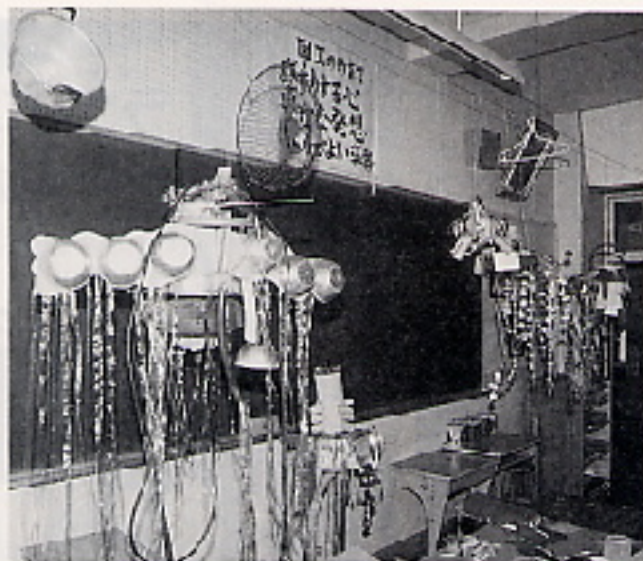
宮内小二太子どもまつりの一つとして始められた足まつり。この足まつりが、子どもたちの心に深く根づいて、いつまでも受け継がれていくことを願っています。（写真⑤）

創造力を大きくふくらませよう

高島町

高島町立魚岡小学校（全校児童一八九名）では、町から委嘱を受け、造形教育に取り組んでいます。

図画工作科の分野で、一人ひとりが豊かに考えをふくらませ、生



写真⑥ 高島町

写真⑤ 南陽市





ま生きと自己表現で、きる子どもの育成を目指しています。

いろんなテーマに沿ってものを作りますが、その材料となるのがなんと廃品。千代田清掃事業所からナベ、タイヤ、電化製品などあらゆる廃品を集め利用します。

空缶を切って花をつくりたり、ナベやヤカンをつなぎ合わせて人ができたり、湯わかし器が顔になったりもします。どんな材料を使ってもどんなものを作るかは児童自身が考えるので、その想像力の豊かさにはびっくりします。作品はトイレなどにも展示して、学校環境も楽しいものになっています。

みんな楽しく取り組み、それが自信につながり、他の授業にも生かされているそうです。楽しさを通して自己判断力を高めるこの教育は、今後さらに必要性を増し、子どもたちの明るく将来へつながっていくことでしょう。(写真⑥)

### 音楽で心が一つ 高山小学校の「全校合奏」

川西町

川西町では、全校合奏を取り組んでいる高山小学校を紹介します。高山小学校は、昭和三十八年に創立し、児童数六十五名の小さな学校です。全校合奏は、児童数が少ないという状況を利点として活用しようと、昭和五十二年から取り組みを始めました。

同校では、年間計画を立て、音楽の授業や学校行事での全校練習、そして夏休みや放課後なども利用して練習を行っています。

同校は、昭和六十三年に創立二十五周年を記念してのレコード製作、ベにばな国体リハール大会での演奏など、すばらしい活動を行っています。県内の学校が出場する「こども音楽コンクール」では、十七年連続出場しており、優良賞などの輝かしい成績を毎年受賞しています。今年度においても、演奏曲「オブラディ・オブラダ」で優良賞を受賞しました。巨校では、このコンクールでの演奏を目標に練習しています。

音楽を通して一つになれること、素晴らしい取り組みだと思います。(写真⑦)

### 「たがやす心」を育てる

米沢市

米沢市の田沢地区にある三沢西部小学校(吉田美智子校長児童数七十八人)では、今年も学校行事の「収穫祭のもちつき」を開催しました。

収穫祭のもちつきは、十一月十九日(土)に、収穫を祝う学芸会終了後に行われました。学校の田んぼで、田植えから秋の稲刈りまで、子どもたちの手で作ったもち米が、この収穫祭で活かされます。最初にお父さんたちが「もちつき

写真⑦ 川西町



写真⑧ 米沢市



き」の模範演技指導。続いて、子どもたちがもちをつく。数回つくると、息があがり杵を持つ手にも汗がいつぱい。お母さんたちは、早く「あんこ、納豆、雑煮」に仕上げ。雑煮の中の「なめこ」と「しいたけ」は、三沢西部小学校

の緑の少年団(全校生が団員)が、真心込めて栽培したもの。おいしそうにもちを食べる子どもたちの顔には、収穫の喜びいっぱい。両親と先生たちの愛情に支えられた収穫祭でした。(写真⑧)





ロンドン市内のキュー・ガーデン（立植検園）



イギリス：バース市内のようす

この研修で隊員たちは、花がいっぱいのすばらしい景観に感動し、そこに住む人々の花に対する愛情や環境に配慮した景観づくりなどにたくさんのお話を学びました。

この研修で隊員たちは、花がいっぱいのすばらしい景観に感動し、そこに住む人々の花に対する愛情や環境に配慮した景観づくりなどにたくさんのお話を学びました。

去る八月二十七日から九月五日までの十日間、置賜広域ふるさと市町村圏広域活動計画「花の北斗七星事業」人材育成事業の一環として、フラワー探検隊五名をイギリス、フランスの二か国に派遣しました。

隊員たちは、まずイギリスのロンドン市内やキュー・ガーデン、そして国あげての花のまちづくり運動である「BBB運動」（花咲くイギリスコンクール）で、毎年優秀な成績をおさめているバース市やオックスフォード市などの行政訪問を交えながら研修しました。

次にフランスではパリ市内や国あげての花のまちづくり運動である「FF運動」（フランスを花で飾ろうコンクール）で毎年優秀な成績をおさめているロワール地方のサンフランポール村、ボージャンシー市を行政訪問、研修しました。

【イギリス、フランスの花探検】

美しい花なちが

私たちが迎えていく水郷の



※ は行政訪問



フランスのロワール川沿いで 左から：木村陽子さん(小国町)、一人おいて遠藤節子さん(川西町)、ボージャンシー市の市長さん、岩井利恵子さん(米沢市)、平美佳子さん(長井市)、後藤博文さん(飯豊町)





フランス：ポーシャンシー西の花飾りのようす



イギリス：

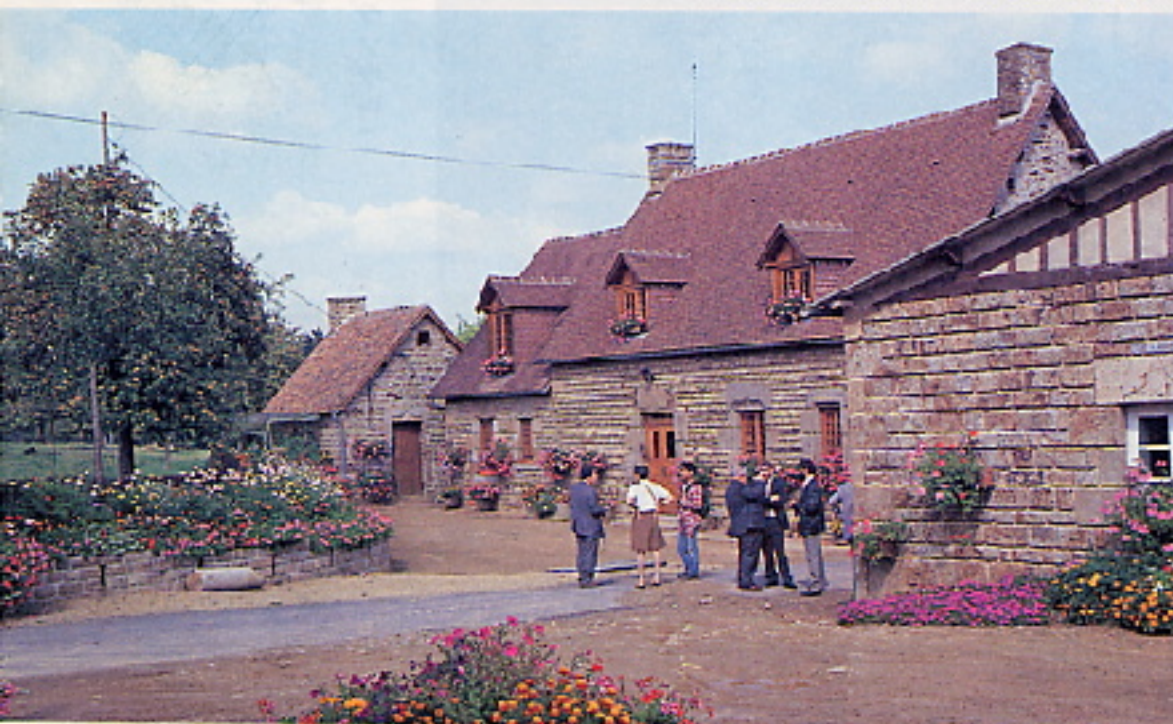


フランス：サンフランボー村の民家の花飾り

また、今回の研修は、「財」日本花の会主催のツアーに参加したことから、全国の花の愛好家の方々と交流を深めてきました。

今後、隊員たちは、花のまちづくりの「仕掛人」として、それぞれの地域で今回の研修の成果を大いに発揮してくれることでしょう。

なお、現在、隊員たちは研修報告書の作成に取り組んでいます。



フランス：サンフランボー村のようす



今年度フラワー探検隊隊員。



## 1花いっぱい

## 春を迎えるための準備

## ●種まきと育苗

一般的に、種をまいてから苗になるまで（植付けできるまで）約七～八日かかります。五月に花を咲かせるには、二月中に種をまかなければなりません。また、発芽する温度は、ほとんどの草花が二十～二十五度です。したがって、当地のような雪国では、気温が二十五度前後で霜が降らない五月下旬以降でない種をまいても育ちません。それ以前に種まきをする場合は、苗床をビニール等で覆うか、熱源を使うなどして、寒さと霜を防ぐ必要があります。

また、五月に咲いた花も夏ごろにはピークを迎え、乾燥した空気が高温などで苗も悪くなつてきます。そこで、五月下旬から種まきをして育てておいた苗と植え替えをする時、一年中すばらしい花を楽しむことができます。

## ●種まきの方法

種まきで一番大切なことは、二が兼菌であることです。土のなかにカビやいろいろな病菌が入っていると、芽が出てきてもすぐ倒れてしまふ、苗立ちぬれ病の原因になります。

また、肥料は、発芽を阻害するので入れないようにしましょう。

## ●移植と苗づくり

移植する時に、培養土を用います。土は、前年度から作って準備をしておく、移植した時になじみやすくなりませす。

植え方は、五等×五等の正方形植えや、ビニールポットを使うのも良いでしょう。

## ●植付けの方法

ゼラニウム（フウコンソウ科）



（植付け）

植え替えは一年に一回、四月または九月に行います。用土は赤玉土に三割ほど腐葉土を混ぜたもの

のを使いましょう。

（植付け後の管理）

月一回化成肥料を少なめに施します。春と秋に灰色かび病が発生しやすいので注意しましょう。

サクラソウ（サクラソウ科）

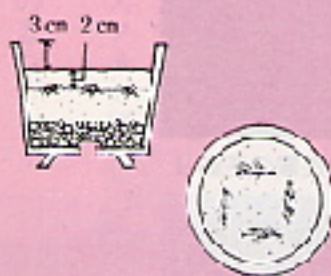
（植付け）

移植の場合には毎年十月～十一月の間に行います。数日前から水やりを止め、土を乾きぎみにしておきます。

用土は、赤玉土に腐葉土を三割ほど加えた土二〇〇に対して、粕二握りと骨粉一握りを加えたものを準備します。

芽は大きさのそろったものを選び、図のように植え付けます。五号鉢で四芽が標準です。

図 サクラソウの植付け方



（植付け後の管理）

日当たりのよい場所に置き、水をたっぷり与えます。夜は、ござなどをかけて防寒しましょう。

水やりは、葉が大きくなり、つぼみが見え始めたら徐々にやります。

栽培カレンダー

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ゼラニウム				●	■							
サクラソウ						●	■	■		■		
パンジー					■				●		■	

■…植付け、植え替え □…開花 ●…種まき ○…日よけ

パンジー（スミレ科）

（植付け）

四月～五月中旬に植付けを行います。パンジーの苗を買ってきて植える場合で、苗についている土が植付けに使用する土質と著しくちがうときは、苗の二を洗い落としてから植え付けましょう。

（植付け後の管理）

肥料は、化成肥料を定植直後に一回、翌春三、四、五月にそれぞれ一回追肥します。長く花を楽しむために、花がらをまめに摘み取りましょう。



# 2 冬の花を楽しむ



12月

シクラメン(サクラソウ科)

**【栽培法】**

水やりは、晴天の午前中に行います。鉢土の表面が白く乾いてからたっぷり水を与えます。花や葉に水をかけると、中心部の葉やつぼみが腐りやすくなるので注意します。また鉢受皿に水をためないようにします。

咲き終わった花は、花茎を指でつまんでねじりながら引き抜くと新しい花が次々と咲きます。

**【病害虫】**

灰色かび病

**(症状)**

花に小さな斑点が入り、腐る。

**(駆除法)**



病気がかかった花茎や葉は根元から抜き取ります。ペノミル水和剤やテオファネートメチル水和剤などを散布します。

**(予防法)**

換気をよくして、湿度を下げます。

1月

シネラリア(キク科)

**【栽培法】**

一般に室内で栽培します。株が込み合っているので、通気よく、乾燥させないように水やりを十分にします。

**【病害虫】**

うどんこ病

**(症状)**

葉に白い粉がたくさんついて生育が悪くなります。

**(駆除法)**

キノキサリン系剤やイプロジオン剤、ペノミル剤を散布します。

**(予防法)**

窒素肥料を控えめにし、カリ肥料を多めに施します。

**輪斑病**

**(症状)**

葉にリング状の暗褐色の病斑ができます。

**(予防法)**

ジネブ剤やペノピル剤を散布し

2月

デージー(キク科)

ておきます。



**【栽培法】**

日当たりが良ければ容易に育ちます。霜の当たらない日当たりのよい場所に置きましょう。

**【病害虫】**

ヨワトムシ

**(症状)**

葉にたくさん穴があき、全滅してしまいます。

**(駆除法)**

D3P剤、イソキサチオン剤M E P剤、P A P剤などを散布します。

**(予防法)**

適切な方法がありません。見つけ次第駆除しましょう。

**(症状)**

新芽の先端5cmほどが急にしおれます。しおれたほうの茎の先端

を割ってみると黄色い卵が見つかります。

**(駆除法)**

四月〜六月上旬にM E P剤、アセフェート剤、イソキサチオン剤などを散布します。

**(予防法)**

古い不必要な株は、引き抜いて焼却しておきましょう。

**ワンポイントアドバイス**

**部屋の鉢物の管理**

冬に室内の湿度が不足し、葉の水分が奪われ乾いてしまいます。冬のあいだこの状態が続くと、月に葉が落ちたり枯れたりするので、次のような方法で乾燥を防ぎましょう。

- ・日中の暖かいときに、霧吹きで葉水を与える。
- ・夜だけポリ袋をすっぽりかぶせてやり、植物自体の湿度を保つ。
- ・乾燥剤で葉が落ちやすい植物：ゴムノキ、ペンジャミン、シニフレラ、シダの仲間など

**花自慢しませんか**

花はつばい運動や、花の名前など、花に関する事で自慢できることがありますらお知らせ下さい。

・連絡先 米沢市金池3丁目1-55  
園地広域行政事務組合  
企画室企画系  
TEL0233(23)3246  
FAX0233(24)4659



# 平成五年度決算報告

歳入		歳出		(単位:円)
2,883,808,199	分任金及び負担金	議会費	3,019,169	
259,992,689	使圧料及び手数料	組合費	156,695,548	
16,193,000	国庫支出金	電算共同処理事業費	717,992,103	
8,096,000	県支出金	民生費	295,379,843	
9,071,640	財産収入	衛生費	3,597,937,014	
21,580,657	繰入金	公債費	451,891,919	
715,372,910	繰越金	予備費	0	
22,542,340	話取入	合計	5,222,975,593	
1,482,000,000	組合費			
2,372,054	寄附金			
5,421,429,439	合計			

歳入歳出差引額 193,453,896円

## 一般会計

歳入 五十四億二千四百四十二万九千四百八十九円  
 歳出 五十二億二千二百九十七万五千五百九十三円

この結果歳入歳出差引額は一億九千八百四十五万三千八百九十六円となり翌年度に繰り越しをしました。

去る十一月二十四日、置賜広域行政事務組合議会十一月定例会において、本組合の平成五年度一般会計およびふるさと市町村圏事業費特別会計歳入歳出決算が承認されました。

## 主な衛生費の内訳と処理量

し尿処理費	432,172,371円 (対前年比12.5%増)
し尿処理量	103,304t (対前年比2.2%減)
ごみ処理費	453,934,678円 (対前年比19.4%増)
可燃ごみ処理量	41,432 t (対前年比0.06%減)
不燃ごみ処理量	25,602 t (対前年比20%増)
死亡獣畜処理費	9,896,951円 (対前年比12%増)
死亡獣畜処理頭数	753頭 (対前年比14頭減)

歳出のうち68.9%を占めている衛生費の主な内訳と処理量は、次のとおりです。

## 各市町分担金額

米沢市	1,137,504,115
長井市	354,055,719
南陽市	322,862,192
高島町	180,149,242
川西町	168,989,751
白鷹町	188,788,875
飯豊町	113,981,860
小国町	98,500,085
合計	2,883,808,199円

歳入の53.2%を占めている各市町村からの分担金の額は、次のとおりです。

## 特別会計

基金の果実金は、  
 二千五百八十四万一千六百二十九円

「花咲き人成るいきいき置賜」をキャッチフレーズに、花と人材育成に係るソフト事業を展開しているふるさと市町村圏事業費特別会計の決算額は、歳入五千二十万一千百三十四円、歳出三千四百九十万百十八円となりました。

歳入のうち主なものは、基金(十億円)の呉笑(利息)である「財産収入」が二千五百八十四万一千六百二十九円、「繰越金」が二千二百九万五千八百七十二円などです。一方、歳出のうち主なものは、花の回廊整備助成金交付事業など花の回廊整備事業費一千二百七十五万五千七百七十四円、広域広報の発行など置賜花だより事業費四百二十一万九千七百三十九円、フラワー探検隊派遣事業などの人材育成事業費が六百五十二万九千三百九十八円などです。

この結果、歳入歳出差引額は、一千五百七十一万二千十六円となり、翌年度に繰越しをしました。





## おきたまニューズ

### 十一 定例会を開会

本組合十一月定例会は、十一月二十四日に開かれました。この議会で、まな平成五年度一般会計及びふるさと市町村圏特別会計歳入歳出決算の二議案が上程され、原案どおり承認されました。次に、平成六年度一般会計補正予算として、民生費の南陽やすらぎ荘ダイルーム拡張事業が国の補助内示により二か年継続事業になったことから、二千五十八万七千円の減額補正や、衛生費の千代田清掃事業所焼却施設の修繕料に係る四百二十五万七千円の増額補正などが上程され原案どおり可決されました。

### 花と遊びました!

去る八月九日、川西町のノレンドリーブプラザ特設会場で、「おきたまニューズ」



たまフラフーンフェスティバル」を開催しました。

この事業は、花の北斗七星事業の置賜花づくり事業の一環として行われたもので、花とのふれあいの機会をつくるため、平成二年度から置賜内の市町村を会場に実施しているものです。

会場内は季節の花ダリアで飾られ、プラザ屋外ステージ及び駐車場ではちびっこ広場、プラザ内では「草木若」コーナーや置賜地方の特産品を展示した「おきたまおもしろ博物館」を設け、また、ホールでは歌手の田中星児さんを迎えての「星空のコンサート」を実施しました。

当日は夏休み中でもあり、親子連れなど約二千人が詰めかけ、一日口賑わいました。

### 置賜地域が地方拠点都市地域に指定されました

去る九月九日、置賜地域が山形県知事から地方拠点都市地域に指定されました。

この地方拠点都市地域の目的は、①都市機能の増進と居住環境の向上を推進する措置を講ずる、②過度に産業業務施設が集中する地域から地方の拠点都市地域への産業業務施設の再配置の促進を図ることです。国の関係省庁は、国土庁

を窓口として農林水産省、通商産業省、建設省、郵政省、自治省です。

現在、本組合では置賜三市五町と共同で、来年二月を目処に基本計画を策定しています。この計画が知事の承認を受けると計画に基づき「職・住・遊・学」の備わった魅力的な地域社会を目指して順次事業を実施していくこととなります。

### 南陽やすらぎ荘開荘二十周年



本組合の養護老人ホーム南陽やすらぎ荘は、昭和四十九年九月に開任以来、今年で二十周年を迎えました。

その記念式典が去る十月十三日、入居者や地区の万々、関係者ら約二百人が出席し開催されました。また、これまでの歩みを記した二十周年記念誌「やすらぎ」も出版されました。

## 参加者募集

### 健康祈願!

みんなて元旦を走ろう

恒例となった「川西町元旦マラソン大会」も十九回目となり、県内外からの参加者を迎えて開催されます。

肌を刺す寒さの中、一年の計を元旦に託して走る出場者を募集します。

●日時・平成七年一月一日(日) 受付 午前八時五十分、開会式 午前九時三十分、スタート 午前十時十五分、場所はいつでも川西町民総合体育館前

●種目・十キロの部(高校生以下一般男子)、五キロの部(①中学生男子、②高校生以下二十九歳以下の男子、③三十歳以下十九歳以下の男子、④五十歳以上の男子、⑤中学生以上の女子)、三キロの部(ジョギング・年齢オープン)

●参加料・一人 千円

●その他・競技終了後、希望者の方に記念写真を撮影し、後日郵送します。

●申込み・問い合わせ先・川西町民総合体育館

☎〇二三八(四六)二二七七



おきたまごよみ

12 月		
22~1/3	安久津三重塔ライトアップ	(高島町)
1 月		
1	川西町元旦マラソン大会	(川西町)
1~3	新春白鷹の工芸と特産展	(白鷹町)
13~16	安久津三重塔ライトアップ	(高島町)
14~16	ふるさと体験ツアー	(飯豊町)
15	大日如来わらじみこし・おさいど焼き	(高島町)
15	各地区ヤハハイロの行事	(飯豊町)
17	笹野観音初十七堂祭り	(米沢市)
25	竜岡文殊星まつり	(高島町)
2 月		
5	涌泉文殊合格祈願祭	(飯豊町)
11~12	上杉雪灯籠まつり	(米沢市)
19(予定)	中津川雪まつり	(飯豊町)
中旬	第四回地球っ子むら	(長井市)
中旬	白竜かんじきまつり	(南陽市)
中旬	スノーボードフェスティバル	(小国町)
26	夕鶴のふゆまつり	(南陽市)
26	第十三回白鷹スキー場祭り	(白鷹町)
(予定)	第七回WINTERトライアスロン	(長井市)
4 月		
1	古代の丘資料館開館	(長井市)
1	長沼寺二彫塑館開館	(長井市)
1	やませ蔵開館	(長井市)
1	溪流釣り解禁	(飯豊町)
29~5/3	米沢上杉まつり	(米沢市)



白い森交流センターのりふれ

朝日連峰のふもと小国町五味沢に昨年十月、研修機能と宿泊機能を合わせた、白い森交流センター「りふれ」がオープンし、好評を博しています。

研修棟には三つの会議室、宿泊棟は和室十二室と洋室四室が備えられており、宿泊定員は五十六人となっています。また今年、付帯施設として和室の研修施設が整備され、間もなく使用できるようになります。

荒川の清流のほとり、自然環境の美しい所にある「りふれ」をぜひ利用してください。

お問い合わせ先  
☎0238(六七)2101

「花たち」パンジー

(花ことば・私を忘れてください)

種まき時期 九月上旬、中旬

植付け時期 四月下旬、五月上旬

開花時期 五月中旬、八月中旬

私の名前はパンジー。三色のみれ、とも呼ばれています。

実際には七色以上の花色が楽しめます。北ヨーロッパ出身のすみれ科、秋まき一年草です。

ギリシア神話によれば、中世のヨーロッパ人は私をタマネギとともにサラダにして食べて、宴会



のごちそうにまでしたそうです。ヨーロッパでは二月十四日のバレンタインデーにクッキーといっしょに贈られる習慣があります。みなさんも大切な人に私をプレゼントしてみませんか。

●お問い合わせ先

- 米沢市観光物産課 0238-22-5111 内
- 長井市商工観光課 0238-84-2111 内
- 南陽市商工観光課 0238-40-3211 内
- 高島町商工課 0238-52-1111 内
- 川西町商工課 0238-42-2111 内
- 白鷹町商工観光課 0238-85-2111 内
- 飯豊町産業課 0238-72-2111 内
- 小国町商工観光課 0238-62-2260 内